



市内各地から
 海底がきれいに見えるほど
 澄んだ甌島の海
 (里町里)
 平成31年3月11日撮影



3月3日(日)、東郷町斧淵地区で第8回のおのぶっ祭が開催され、約3,000人が来場しました。斧淵地区の全14自治会でつくり上げるこの祭りは、屋台村の出店も芸術館の出演も全て地区住民で行っています。当日は、来場者もスタッフもみんな笑顔で、春の祭りを満喫しました。
 【写真・記事提供】斧淵地区コミュニティ協議会

「明るく、楽しく、美味しく」を合言葉に
 おのぶっ祭開催!



2月23日(土)と3月9日(土)の2回にわたり、市役所本庁で、まちづくりに対する幅広い考えを市政運営に反映していくことを目的に、まちづくりに関するワークショップを開催しました。参加者は、20代から50代までの25人で、若者や子育て世代、働き盛り世代の視点から、これからのまちづくりなどについて、活発な意見交換を行いました。

みんなで考ええるまちづくり



2月19日(火)、薩摩川内警察署で薩摩川内地区防犯協会と薩摩川内警察署が、ドライブレコーダーの映像提供に関する協定を締結しました。

これは、事件や事故などが発生した際、防犯協会が市内の青色防犯パトロール団体などに貸与しているドライブレコーダーの映像を、必要に応じて警察へ提供することで、早期解決を図ろうとするもので、安全・安心なまちづくりに役立てられます。

ドライブレコーダーの映像提供に関する協定の締結



3月2日(土)、国の重要文化財の旧増田家住宅で、入来町に江戸時代から伝わる桃の節句の伝統行事「かえんそや」が行われました。

参加した1歳から小学校6年生までの18人の女の子は、「交換しましょう」を意味する「かえんそや」と声を掛け合いながら、箸を使って重箱に詰めて持ち寄ったお菓子を交換し、晴れ着での作法や礼儀を学びました。

入来に伝わる桃の節句「かえんそや」



3月3日(日)、鹿島町でつばきマラソン大会が開催されました。

鹿島小学校をスタートして集落内を回る1km・3km・5kmの各コースとウォーキングに、総勢134人が参加しました。

マラソン終了後は、豚汁などが振る舞われ、新鮮な魚などの抽選会も行われました。

つばきマラソン大会開催

地域おこし協力隊

薩摩川内LIFE

今回の担当は、黒木地区の下村隊員です。

■私が地域おこし協力隊になったきっかけ

ボクサーを目指して関西へ行きましたが、けがをして断念。その後、ペット関係の卸売業の仕事に就きましたが、起業の夢を諦めきれず、日に日に思いが強くなっていったところ、インターネットで地域おこし協力隊のことを知りました。周りからの後押しもあり、任期満了後の起業を見据えて、思い切って応募しました。

■黒木自慢

黒木は、水がきれいで米や黒牛が有名です。景観が素晴らしい木場の棚田や泉質がトリートメントな黒木温泉があり、グリーン・ツーリズムの受け入れ人数は県内ナンバーワン。歴史も深く豊州島津家の墓があります。

ので、ぜひ一度遊びに来てください。

■私の一押しスポット

矢立農村公園せせらぎの里では、ニジマス釣りやバーベキューもできます。自生しているクレソンは取り放題(でも取り過ぎないでね)ですし、近くには小川が流れ、きれいな水を利用して、ワサビも育てています。ホテルを見ることが出来る癒やしの空間となっております。



■これまでの活動

・黒木温泉の竹灯籠看板
 黒木温泉の来場者を増や

Vol.12 祈答院町 黒木地区



(黒木と黒鶏の)クロちゃんです。
 どこかで聞いたことがあるね。

しもむら だいき 下村 大樹 (26歳)
 ・鹿児島市出身
 ・熱帯魚などのペット関係の卸売業から転職
 ・趣味は釣り、将棋、温泉巡り、漫画、DVD鑑賞、スポーツ全般
 ・アレルギー多数
 ・理屈より勢いで行く性格
 ・祈答院町黒木地区の地域活性化を担当

してほしいと要望があり、行ってみると、明かりや看板がなく、最初は温泉だと気付かないほどでした。そこで、地域資源の豊富な竹を生かし、竹灯籠で看板を作成することにしました。黒木小学校の児童がデザインし、地域のおじいちゃん世代が竹を切って油抜きして、お父さん世代が削り、三世代の協力による竹灯籠看板を完成させました。



▲黒木温泉の竹灯籠看板

・暮れの市に協力隊ブース
 黒木の暮れの市10周年を記念して、地域おこし協力隊PRブースを設置し、さつま町や伊佐市の地域おこし協力隊にも出展し



▲西方地区ともタイアップした竹状カーリング

ていただきました。私は、地域の方々と四苦八苦しなながら規定の2倍のサイズの竹スタadiumを作りました。暮れの市自体も例年以上に盛り上がり、こういった助け合いが地域活性化につながるんだなとうれしく思いました。

・竹状カーリング
 小学生から高齢者まで楽しめる卓上カーリングを竹で作って、「竹状カーリング」と命名し、黒木地区や西方地区のサロンで実施しました。この竹状カーリングが、黒木地区だけでなく県内や全国に広がって、地域間交流ができればいいなと思います。

■私が今後取り組みたいこと
 県内で問題になっている放置竹林による竹害解決のために、倒竹で防草材を作ったり、耕作放棄地に竹のスタadiumを設置して点在型のキャンプ場を造ったりしてみたいと思っています。

また、せせらぎの里で育てているワサビの生育改善に取り組み、黒木地区で有名な米やタケノコと併せて特産品も開発したいと考えています。

協力隊事務所
 黒木地区コミュニティセンター
 地域おこし協力隊詰所
 所在地 祈答院町黒木21番地7
 ☎090(4584)5856
 ツイッター 黒木地域おこし協力隊
 https://twitter.com/pochankuroki

地域おこし協力隊活動ブログも更新中! http://ss-pochan.tumblr.com/

